



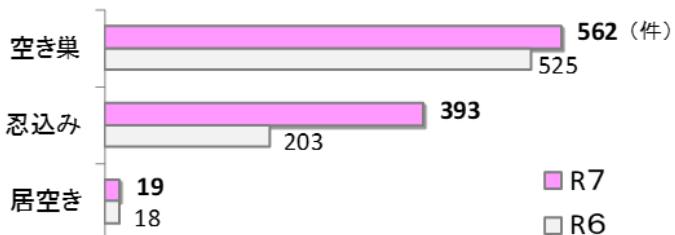
いばらき防犯ファイル R7 No.47

住宅侵入窃盗事件発生状況

令和7年9月末 974 件 (前年比+228 件) ※ 暫定値



● 手口別発生状況



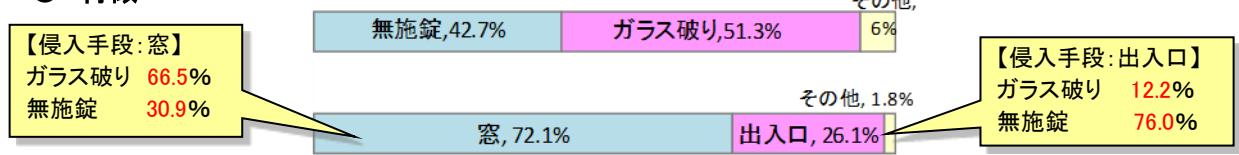
※ 【住宅侵入窃盗】

空き巣：家人等が不在の住宅の屋内に侵入し金品を盗むこと
忍込み：夜間家人等の就寝時に住宅の屋内に侵入し、金品を盗むこと
居空き：家人等が在宅中に住宅の屋内に侵入し、金品を盗むこと

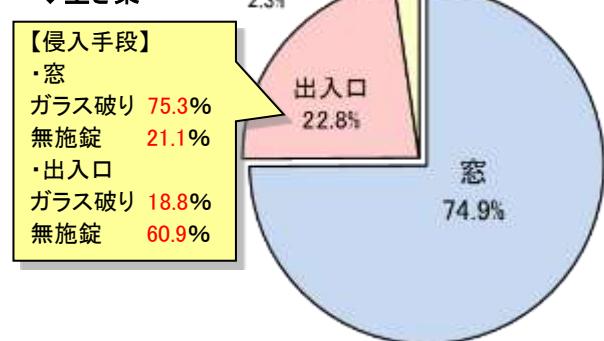
※ 住宅侵入窃盗の人口 10万人当たりの認知件数（犯罪率）は、34.7 件で全国ワースト2位
(1位 群馬県 43.9 件) となっています。

● 特徴

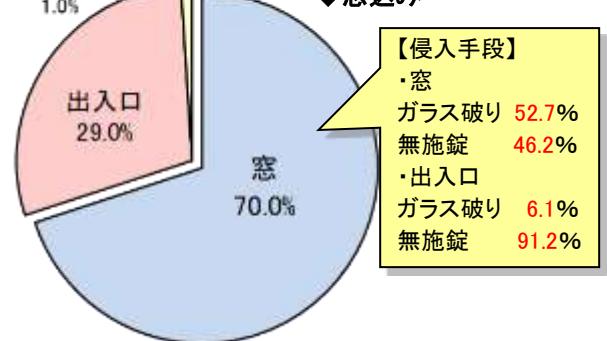
【侵入手段・箇所】



◆ 空き巣



◆ 忍込み



防犯メモ

夜間、就寝時間帯を狙った忍込みが増加しています。就寝前に玄関や窓の施錠を再確認しましょう。また、窓の3割強、出入口の8割弱が無施錠の状態で侵入されています。外出する際は、たとえ少しの時間でも、確実に鍵を掛けましょう。

さらに、窓ガラスを破壊して侵入するケースが増えています。

窓ガラスには、**防犯フィルム**、サッシには**補助鍵**等の対策を施して侵入されにくくしましょう。センサーライトや防犯カメラ、警報器等の防犯装置を活用しましょう。

※防犯性能に優れた「CPマーク」表示のある窓に交換することも被害の防止に効果的です。

「CP」Crime Prevention (防犯) の頭文字

